



Title	研究室報
Citation	独語獨文学科研究年報, 21, 89-91
Issue Date	1995-02
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/25997
Type	other
File Information	21_P89-91.pdf



研究室報

講義題目(1994年度)

独語学概論		植木迪子
独文学史概説		石原次郎
独語学	Landeskunde	植木迪子
独語学	中高ドイツ語	清水誠
独語学	標準ドイツ語の成立－社会変化と言語変化－	小野光代
独語学	Fachsprache für Juristen, Wirtschaftler und interessierte Germanisten	Franz Schneider
独文学	Märchen und Bedeutung (2)	Michael Haas
独文学	Schreiben und Textproduktion	Sigrid Holzer
独文学	テクスト読解の基礎	石原次郎
独文学	K. I. ガイガーと18世紀末ドイツ	村田竜道
独文学	ツェラーンとリルケ	相原勝
独語学演習	独語学の基本	植木迪子
独語学演習	Einführung in die Kognitive Linguistik	植木迪子
独語学演習	西ゲルマン語演習	清水誠
独語学演習	オランダ語学 (1)	清水誠
独語学演習	Linguistik und Terminologie	Franz Schneider
独文学演習	19世紀半ばのグラビア雑誌	高橋吉文
独文学演習	文学に向き合う読者	石原次郎
独文学演習	Lesen und Sprechen	Franz Schneider

研究室行事記録

◎1994年2月22日に北海道大学文学部301号室において1993年度卒業論文・修士論文発表会が開かれた。

◎1994年には、文学部で下記の研究会がもたれた。

- 7月19日 塩谷幸子「Die Exklamativsätze und ihre Position im Satzmodus-system」
- 林 馨子「Subjektkontrolle und Objektkontrolle」

〈留学関係〉

◎1994年8月に荻原達夫氏がミュンヘン大学から留学を終え帰国した。

◎1994年8月に田野中純子氏がミュンヘン大学へ留学のため出発した。

◎1994年9月に田中 慎氏がパッサウ大学から留学を終え帰国した。

◎1994年9月に臼渕幸子氏がパッサウ大学から留学を終え帰国した。

◎1994年9月に中祢勝美氏がハンブルク大学から留学を終え帰国した。

◎1994年9月に清水 誠氏がオランダ・フローニンゲン大学から留学を終え帰国した。

☆1994年5月7日に年報の総会が行われ、会長選出、幹事選出、入会報告等が行われた。

1993年 度 論 文 題 目

卒業論文

漆 山 和 仁：ナチス宣伝省による文学の操作と大衆

——『ホルスト・ヴェッセルの歌』の盛衰 ——

瀬 戸 美奈子：カフカのユーモア－人物の身振りと物語に登場する奇異な存在－

田 中 智 美：Michael Ende：“Der Rattenfänger – Ein Hamelner Totentanz”

新 田 雄 子：アーダルベルト・シュティフター『水晶』研究

湯 浅 英 俊：Ein kurztweilig lesen von Dil Ulenspiegel 民衆本成立についての考察

横 井 彰 子：カフカ『変身』論

吉 田 理 恵：ハインリヒ・ベル『アダムよ、おまえはどこにいた』

—— 戦争の中の人間達 ——

修士論文

林 馨 子：ドイツ語及びオランダ語における動詞繰り上げについて

北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本会は上の目的達成のため下記の事業を行なう。
 - 1) 機関紙「独語獨文学科研究年報」を毎年1回発行する。
 - 2) 合評会、研究会、講演会等を隨時行なう。
4. 本会員は北海道大学文学部独語・獨文学研究室の教官・院生（学生も含む）ならびにその趣旨に賛同するものによって構成される。

本会員は上の活動の遂行のため所定の会費を支払う。

本会は1名の会長と若干名の幹事をおく。幹事は会計および編集委員を兼任する。

本会の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日をもって終わる。

本会の事務所は北海道大学文学部独語獨文学研究室におく。

本会に賛助会員をおく。

会員名簿

※青柳謙二	石川克知	石橋道大	石原次郎
伊藤祐紀子	岩井洋	岩田聰	◎植木迪子
臼渕幸子	梅津真	江口豊	岡田麻子
○小川了	荻原達夫	小澤幸夫	加藤寛蔵
川島淳夫	川東雅樹	岸川良蔵	佐藤修子
佐藤俊一	○塩谷幸子	※塩谷饒	清水誠
神久聰	鈴木将史	瀬川修二	高橋修
高橋吉文	田中慎	田中剛	○田野中純子
対馬晃	寺田龍男	中川勝昭	中祢勝美
名執基樹	西川智之	林馨子	藤本純子
前原真吾	三浦國泰	最上英明	森田一平
山田恵子	山田善久		

◎は会長

○は幹事

※は賛助会員

独語独文学科研究年報 第21号

1995年2月発行

発行者 北海道大学ドイツ語学・文学研究会
編集委員 小川了 塩谷幸子
田野中純子
連絡先 北海道大学文学部独語独文学科研究室内
060 札幌市北区北10条西7丁目
印刷所 北大印刷
